

OERキャブパイロットスクリューの調整に関するの注意点

「パイロットスクリュー」は先尖りの精密部品です。軽く締め付けないと段付が起きたり、折れ込んだりしてアイドルが不安定になります。

OERキャブのパイロットスクリュー（アイドルスクリュー）は、他のキャブのものとは違いよりシビアにセッティングできるように先端の角度は鋭角になっております。それが故に、あまりに強いトルクで締められますと先端が破損したり、ボアに修復不可能なダメージをうける恐れがありますので、調整の際は、締めこみすぎないようにくれぐれも注意していただきますようよろしくおねがいいたします。



左より、SOLEX（3/4型）、WEBER、OERの順に並んでおります。ご覧になってわかるようにスクリューのネジピッチも細かく、先端の角度も最も鋭角な設計になっております。これは、キャブのアイドルリング時の燃料調整を細かくセッティング出来るよう設計されたものです。

セッティング時にこのスクリューの開閉に使用されるドライバーは出来る限り細めのドライバーをご使用していただき、スクリュー全閉時にトルクがかからないようにしていただきますよう宜しくお願いします。

閉め過ぎに注意です。

フロートの調整

*下記の写真のようにチャンバーカバーをキャブから取り外し、ひっくり返してガスケットとフロートの間が24~25mmの間になるように⑬のロックナットをゆるめ、⑫のフロートアジャストスクリューで調整してください。



油面は、下記のスクリューを右に回すと上り(高くなる)
逆に左に回すと下がる(低くなる)
尚、出荷時は基準値に設定してあります。

